

初再診料や外来管理加算、入院基本料について

「初再診料や外来管理加算、入院基本料等」(「もの・技術の分離」、「コスト根拠の明確化」、「複数科受診」を含む)については、「中医協・今後の議論の進め方についての1号側(支払側)意見」(平成22年8月25日)、「次期診療報酬改定に向けた今後の議論の進め方についての「対応案」(平成22年7月28日)に対する2号側意見」(平成22年8月16日)において、優先して議論するべきと提案されている。

しかしながら、2号側から提案された「中医協答申(平成22年2月12日)附帯意見等に基づく時期診療報酬改定に向けた今後の検討課題に関する提案」(平成22年5月26日)と、「中医協における今後の検討課題に関する1号側(支払い側)の意見」(平成22年6月23日)では、意見が異なっている部分もあることから、本項目に関して議論の方向性や焦点、検討の進め方について検討することとする。

1. 1号側、2号側意見

- (1)「中医協答申(平成22年2月12日)附帯意見等に基づく時期診療報酬改定に向けた今後の検討課題に関する提案」(平成22年5月26日)(2号側)

【具体的に検討すべき主な項目】

- ・「技術」と「モノ」の評価の分離 (1-2-)
- ・基本診療料に含まれるとされる建物・設備等のキャピタル・コストや人件費等のオペレーティング・コストや技術料の積算根拠の明確化、原価計算による根拠に基づく点数設定 (1-2-)
- ・加算ではなく基本診療料及び特掲診療料本体の引き上げによる対応 (1-2-)
- ・病院における複数科同時受診の再診料の算定 (1-2-)

医科歯科共通項目

【今後実施すべき調査内容(検証部会実施分を除く)】

- ・技術評価の調査(医療技術評価分科会) (1-2-1)
- ・基本診療料及び技術料に係る中間消耗材料費等を含むコスト分析調査(医療機関のコスト調査分科会) (1-2-2)
- ・消費税に関わる損税の実態調査 (1-2-3)
- ・病院における複数科同日受診の実態調査 (1-2-4)
- ・再診料の意味合いに関する調査 (1-2-5)

医科歯科共通項目

(2) 「中医協における今後の検討課題に関する1号側(支払い側)の意見」(平成22年6月23日)(1号側意見)

(1) 外来に関わる初・再診料、外来診療料、各種加算(外来管理加算、地域医療貢献加算等)の意義や位置づけを検討すべき。(1-1-)

(2) 急性期医療の充実強化や病床の機能分化の推進に資する入院基本料等のあり方ならびに医療機関の特性に応じた加算や特定入院料によるメリハリのつけ方、それらの整理・合理化について検討すべき。(1-1-)

【診療側の提案に対する意見】

・基本診療料のあり方や内容等について議論することは賛成だが、診療側の提案では、基本診療料の中で「技術」と「モノ」の評価の分離、キャピタル・コストや人件費等の積算根拠の明確化まで含めて具体的に検討すべきとされている。しかしながら、これらの項目については、技術料設定の考え方や基本診療料についての考え方など、さまざまな検討課題が考えられるため、検討の対象を絞り込むなど、慎重に検討すべき。

(1-1-)

【主な調査内容】

- ・外来管理加算と地域医療貢献加算の算定状況と効果検証(1-1-1)
- ・一般病棟入院基本料の入院早期加算引上げに伴う影響(1-1-2)
- ・亜急性期・回復期の病床機能や患者増の実態把握(1-1-3)
- ・回復期リハビリテーション病棟入院料の算定状況、効果検証(1-1-4)
- ・救急入院医療に関わる加算、特定入院料充実による影響(1-1-5)
- ・各種加算の算定状況と創設時の目的と現状比較(1-1-6)

2. 論点

以下の項目(特に(1)(2))について、議論の方向性や焦点、検討の進め方を整理してどうか。

- (1) コスト根拠の明確化
- (2) もの・技術の分離
- (3) 初再診料、外来管理加算、地域貢献加算、入院基本料、特定入院料
- (4) 複数科受診